



南阿蘇村立南阿蘇中学校 学校だより

ハーモニー



R5.1.27(金) No.35 小柳弘志

少し早いですが・学校評価記入協力をお願いします

関係は、私立高校の奨学・特待・専願が終わり、公立高校の前期選抜が終わったところで、卒業式まで土日を入れて今日からあと37日間です。

1. 2年生は修了式まで57日間です。この時期に今年度の学校評価を行い、来年度に向けて生かしていきたいと考えています。

生徒は今週タブレットを使い行いました。保護者の皆さまには来週プリントを配付します。用紙で提出されてもかまいませんが、生徒同様にスマホ等からQRコードで入って頂き、記入提出していただくと助かります。ご協力よろしくをお願いします。

来週から2月になり、3年生の入試

| 領域 | 評価項目 | 評価点 |
|-------|--|-----------|
| 全体 | 1 お子さんは学校生活を楽しんでいると思いますか | 5・4・3・2・1 |
| | 2 お子さんは目標を持って学校生活を送っていると思いますか | 5・4・3・2・1 |
| | 3 学校は家庭への連絡や情報提供を積極的にしていると思いますか | 5・4・3・2・1 |
| 学習(中) | 4 お子さんは学習の進捗や理解の程度を把握し、忘れ物がないように注意していると思いますか | 5・4・3・2・1 |
| | 5 お子さんは授業を楽しく受けたいと思いますか | 5・4・3・2・1 |
| | 6 お子さんは授業中に積極的に発言していると思いますか | 5・4・3・2・1 |
| 生活 | 7 お子さんの成績(評価)に納得していますか | 5・4・3・2・1 |
| | 8 生徒のあいさつは真面目で丁寧だと思いますか | 5・4・3・2・1 |
| | 9 学校は授業や行事の準備に迅速に対応していると思いますか | 5・4・3・2・1 |
| その他 | 10 学校は校内の環境(校舎・校庭)に満足していますか | 5・4・3・2・1 |
| | 11 体育祭や文化祭などは、生徒にとって楽しく行っていると思いますか | 5・4・3・2・1 |
| | 12 学校は休みについて考えさせ、豊かな心を育てようとしていると思いますか | 5・4・3・2・1 |
| | 13 お子さんは「毎日学校が楽しい」と思っていますか(個別評価) | 評価 5分以内 |

【そのほか 15・中・高 男子 4・どちらとも思えない 3・あまり聞かない 2・聞かない 1】

(イメージ)

さいきん 最近のニュースから

今週の気になるニュースです。

県内72高校に脅迫ファクス(1月24日)

熊本県内の県立高全50校と熊本市立高2校、複数の私立高校に24日未明、現金を要求する脅迫文がファクスで届いた。文面には「改造銃や火炎瓶で殺しまくってやる」との文言があった。24日は、県公立高入試の前期選抜の試験日で、県教育委員会と市教委は各校の安全を確認して試験を実施。県警は、パトカーを学校周辺に巡回させた。

県教委などによると、24日午前2～4時、各校に「今日の13時34分までに二つの口座に300万円ずつ振り込め。振り込まなかった場合、学校内にいる生徒と教員を改造銃や火炎瓶で殺しまくってやる」といった内容のファクスが届いた。実在する弁護士が差出人になっており、口座番号や東京にある弁護士事務所の住所、署名、なつ印もあった。県教委などによると24日午後4時現在、異常は確認されていない。(熊日新聞の記事より)

寒波に見舞われた1月24日(火)は記事にあるように公立高校の前期選抜でした。本校でも3年部の先生方が各高校に出向いて生徒の確認を行いましたが、先生方から「パトカーが高校周辺を巡回していました。」という話も聞いていました。

翌日の新聞に上記の記事があり、その理由が分かりました。その後、全国のニュースにも、多くの県で同様の脅迫文がファクスで届いたとありました。ネット社会の闇が表れていると感じました。

また、翌日以降、中学校にも同様の脅迫文が学校に届くということも全国で起こっています。生徒に不安や不必要な興味関心を起こさせないための県警や県教委の判断で、生徒は受検に集中出来たとありがたいと思いました。本校でも職員が不審者対応マニュアルを再度確認し行動しています。ネット社会とどう向き合い、自分はどう行動するか、しないかが試されています。



くまもとハートウィーク

毎年12月3日から9日は障害者週間しょうがいしゃしゅうかんです。熊本県では、障がいのある人への理解を広げるために、12月の障害者週間を中心に「くまもとハートウィーク」として各種イベントや「心の輪を広げる体験作文」「障害者週間のポスター」募集がありました。今年度の入賞作品の1つを紹介します。

「配慮とは」

高校生の部最優秀賞

僕は、「骨形成不全」という病気を持って生まれてきました。この病気は骨が折れやすい病気です。赤ちゃんの頃は骨折ばかりで、両親は抱えるのも大変だったと話していました。そして僕には、同じ障がいを持って生まれてきた妹がいます。妹も生まれたときは骨折して生まれてきたと母から聞きました。

僕と妹は同じ障がいを持っていますが、それぞれが全く違う経験をしています。それは、周りの人たちからの言葉や態度からもたらされたものでした。

幸いなことに、僕の周りには障がいを理解してくれる友達がいました。骨が折れやすいため、普段は松葉杖や車椅子で生活しているので、休み時間に外に行って遊ぶということができませんでした。いつも友達が側にいてくれて、教室でいろんなことを話しました。移動教室の時には、教科書などの重い荷物を持ってくれたり、給食の食器の片付けも手伝ってくれていました。ケガをして入院した時には学年全員から手紙をもらい、励まされたこともあります。オンライン授業を受けた時は、休み時間のたびに友達がタブレットの周りに集まって必ず声を掛けてくれました。それがどんなに嬉しかったか。思えば僕の側には、いつも優しい友達がいてくれました。

しかし、同じ障がいを持っていて、環境が違えば、受ける言葉も態度も違います。僕の妹は僕と全く同じ障がいを持っているにもかかわらず、とても苦い経験をしていました。心ない態度や言葉を向けられた妹の話聞いて、まだまだ障がいに対しての知識や理解がない社会なのだと実感しました。

僕も学校では楽しく過ごすことができていましたが、一歩外に出ると困ることがたくさんあります。僕を困らせるのは、一本のケーブルだったり、一見すると気づかないほどの小さな段差だったりします。僕は今まで何度も転倒して骨折してしまい、病院に入院をして手術を行ってきました。骨折してしまった時は、三週間から一ヶ月半の間、入院を余儀なくされました。つまづくだけで骨折する人はあまりいないと思いますが、僕にはその危険性があります。ケーブルや、段差につまづくこと、それは僕が学校生活をスムーズに送れないことにも直結してしまいます。

入院すると、勉強をしようと思っても、リハビリやレントゲンなどの時間と重なり、思うように自主学習を進めることができません。思わぬことが誰かの生活を阻むということは、割と多いのではないかと思います。

ケーブルや、段差が僕を困らせるように、思わぬところで僕の何気ない行動や言葉が、どこかで誰かを困らせたり、傷つけているかもしれません。自分だけの立場で物事を考えず、少し違う視点で見つめてみる、そういう心がけが、思いやりや優しさを生むのではないのでしょうか。

例えば、バリアフリーやユニバーサルデザインなども、誰かが誰かを想う優しさの形です。「誰でも使える、誰でも楽しめる、誰にもわかる」そういう気持ちが形になって、どこかで誰かを助けています。特別なことは何も必要なく、世界中の人が優しい気持ちを持つだけで、世界はきっと変わっていくと思います。

僕は高校を卒業したら、すぐに社会に出て働こうと想っています。車椅子と松葉杖で生活している僕にとって、誰かの手助けは不可欠です。しかし僕は困った時に、誰かに声をかけて助けてもらうことが苦手です。だからどうしても自分で解決しようとしてしまいます。手を貸してもらうことを躊躇して骨折をしてしまったら、自分が困るのはもちろんですが、職場の人にも迷惑をかけてしまうことになりかねません。「何も言わなくても分かってくれるだろう」という気持ちを改め、人の善意に頼り過ぎず、自分から「助けてください」と声を掛けることができるようになりたいです。そして優しさをもらった分、僕も優しさを返せるようになりたいと想います。

「僕と妹は同じ障がいを持っていますが、それぞれが全く違う経験けいけんをしています。それは、周りの人たちからの言葉や態度からもたらされたものでした。」から始まる内容から大切なことを教えてもらいました。